

# 第1学年 社会科

## 1. 社会って何を勉強する教科？

国際化の時代・・・見知らぬ人々と交流するためには、お互いの歴史と文化を伝えあい、理解し合うことが特に必要です。歴史の学習は、考える歴史。どうしてそうなったかと疑問を持つことが大切です。

今の社会は情報化・環境問題など、あらゆる面で急速に変化しています。アメリカの会社が倒産したり、国の経済破綻が世界経済に大きな影響を与えるなど、グローバル化が進んでいます。世界や日本の未来を考えながら、変化に立ち向かっていく力を養ってください。みなさんがいろいろな土地に出かけたり、そこで生活している人々と心のつながりを持ったるときに、社会科で学んだことがきつと手がかりになるでしょう。

## 2. 学習の仕方

### ○授業の中で大切にしてほしいこと

- ・授業を大切にす。チャイムと同時に、学習がスタートです。教科書やノートを開けて、読んでいきましょう。
- ・忘れ物をしない。(忘れ物があると授業の内容がわからなくなります。)
- ・ノートを必ずとりましょう。今日の学習をまとめたり、資料やプリントを貼っておくようにしましょう。

### ○家庭学習で取り組んでほしいこと

- ・教科書を必ず読む。重要語句の意味を理解しましょう。統計資料やグラフなどの特色をつかみましよう。
- ・地図帳をそばに置いて、地名や位置をチェックしましょう。
- ・新聞やテレビのニュースで、世の中の動きに関心を持ちましよう。
- ・ワークは習ったところを自主的に進めていきましよう。間違えたところは、再確認するとなお効果的です。
- ・自主ノートに学習内容をまとめたり、ワークで復習すると理解が深まります。

## 歴史の勉強方法

小学校では、歴史の学習は人物(聖徳太子や徳川家康など)中心でした。中学校では、世界の歴史も加えて、人類の誕生から現在までを時代順に学んでいくことになります。ですから、次のことを心がけていってください。

### (1) 時代の流れをつかむ

それぞれの時代には、さまざまなできごとがあります。そのできごと(事件)について、次のようにまとめていきましよう。

☆いつ・・・とくに重要なものはゴロあわせで覚えよう。有名なものとしては、「794(ナクヨ)うぐいす平安京」などがあります。あとは、奈良時代や江戸時代という時代名で整理していこう。

☆だれが・・・小学校で学習した人物に加えて、さまざまな人物が登場します。とくに教科書で太字になっていたり、絵や写真で紹介されている人物は重要です。必ずチェックしておきましよう。

☆どこで・・・地図帳は歴史の学習にも必要です。出てきた地名や都市名は、地図帳で必ず見て、赤ペンなどでマークしておきましよう。

☆どうして・・・実は、ここが一番大切なポイントです。どんなことにも必ず原因があります。授業中に考えたり、先生の話をよく聞いてまとめてみてください。

☆どうなった・・・事件やできごとには、結末があります。さらにある事件の結末が次の事件の原因になることがよくあります。この流れをつかむようにしていけば、歴史の流れが頭に入ってきます。

### (2) 日本と世界の結びつきを考える

流れをつかんだら、日本と世界がどのように結びついているかを見ていきましよう。とくに、お隣の中国やアジアの国々との関係、さらにアメリカやヨーロッパの国々との関係が大切になります。これは地理学習にもあてはまります。

## 地理の勉強方法

「私、地理って嫌い。」という声を時々聞きます。その理由は、「地名がわからない。」というものがほとんどです。地理の学習は、これさえ覚えてしまえば、あとは何とかなるという秘訣があります。それを教えましょう。

### (1) 世界のおもな国名と日本の都道府県を覚える。

1年では「世界の姿」, 「世界各地の人々の生活と環境」, 「世界の諸地域」, 「世界のさまざまな地域の調査」, 「日本のすがた」について学習します。ここで絶対に身につけておくべきことは次の2つです。

#### ①世界の地域区分とおもな国々の位置をつかむ

世界には、「アジア州」「アフリカ州」などの地域区分があります。そして、その地域ごとの主な国の位置と名前をしっかりと頭に入れることです。

#### ②日本の場合も世界と同じです。

「東北地方」「関東地方」という地域区分をしっかりと頭に入れ、次に47の都道府県をすべて覚えることです。友だちとクイズ感覚で問題を出し合って覚えると、案外早く覚えられます。都道府県の形をジグソーパズルのように切り抜いてゲームをする、という方法もあります。

### (2) 気候や地形を頭に入れて判断する

「どの地域がどんな気候かなんて、いちいち覚えてられない」まさにその通りです。だから、法則を見つけるのです。地球上で一番暑いのは赤道近くで、反対に寒いのは北極や南極です。これさえわかれば、あとは暑い方から寒い方へ順序よく並べるだけ。そして、暑ければどんな衣服を着るか、どんな作物が育つか、などを推理してみる。基準となるのは日本ですね。「日本は、暑い方だし雨もよく降るからお米が育つ。」こういうことを広げて考えられるようにしていけばいいのです。あとは、平野が多いのか山がちなのか、工業が盛んか農業が盛んかで、国々の様子がかめてくるものです。ひとつひとつの国を、バラバラにしないで、同じグループに分けて判断していくようにしましょう。

日本の都道府県の場合も同じです。東京を中心に、大都市に近いか遠いか、夏と冬の気候にどのような特色があるか、海に近いか山がちなのか、歴史に登場する有名な地域はどこにあるか、などいろいろな視点から見ると、理解が早くなります。

1年生で学習する内容は、3年間の基礎になります。まずは土台をしっかりと作ることを目指して、がんばりましょう。そして、少しでも疑問があれば先生に質問しましょう。

## 3. 一年間の学習内容と目標

評価 A：十分理解 B：ほぼ理解 C：不十分

月	単 元	学 習 内 容 や 目 標	評価
4	世界の姿 (地理)	・世界の地域は、様々な構成の仕方により分けられていることがわかる。	A・B・C
5	世界各地の人々の生活と環境 (地理)	・世界の人々の生活や環境は、その地域により多様であることがわかる。	A・B・C
6	歴史の流れをとらえよう (歴史)	・時代区分や各時代の特色などの基本的な内容を理解し、まとめて表すことができる。	A・B・C
7	古代までの日本 (歴史)	・世界の各地で築かれた古代文明の特色や、共通する特色をつかむことができる。 ・主な宗教の特色をつかむことができる。 ・東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家がつけられてきたことがわかる。	A・B・C
9		・大陸の文物や制度を取り入れながら国の仕組みが整えられたことがわかる。 ・天皇や貴族が中心の政治が展開したことがわかる。	
10	世界の諸地域 (地理)	・アジア州の地域的特色をつかみ、地理的認識を深めることができる。 ・ヨーロッパ州の地域的特色をつかみ、地理的認識を深めることができる。	A・B・C

11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州の地域的特色をつかみ、地理的認識を深めることができる。</li> <li>・北アメリカ州の地域的特色をつかみ、地理的認識を深めることができる。</li> <li>・南アメリカ州の地域的特色をつかみ、地理的認識を深めることができる。</li> <li>・オセアニア州の地理的特色をつかみ、地理的認識を深めることができる。</li> </ul>	
12	世界のさまざまな地域の調査 (地理)  身近な地域の調査 (地理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の人々はそれぞれの地域で、なぜそのような多様な生活を営んでいるのかを考え、地理的認識を深める。</li> <li>・調査活動や調査結果のまとめなどの様々な学習活動を通じて、言語能力を高める。</li> <li>・直接経験地域でない世界の様々な地域又は国の調査を行う際の視点を身に付ける。</li> <li>・縮尺の大きな地図や統計その他の資料について、活用の技能を身に付ける。</li> <li>・地域に対する理解と関心を深め、課題を見だし、地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとする。</li> </ul>	A・B・C  A・B・C
1	中世の日本 (歴史)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武家政権の支配が次第に全国に広がったことがわかる。</li> <li>・南北朝の争乱や応仁の乱後の動乱など、幕府の支配力の強さと社会の安定・動乱とのかかわりがわかる。</li> <li>・産業の発達や自治組織の成立がわかる。</li> <li>・武家や民衆の成長を背景にした文化が生まれ、広がったことがわかる。</li> </ul>	A・B・C
2	日本の姿 (地理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地域構成は、様々な構成の仕方により、仕分けられていることがわかる。</li> </ul>	A・B・C
3	世界から見た日本の姿 (地理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力がわかる。</li> <li>・世界と日本の人口と人口密度、日本の少子高齢化、人口分布、過疎・過密問題がわかる。</li> <li>・世界と日本の鉱産資源の分布、エネルギーの消費の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題がわかる。</li> <li>・日本と世界との交通・通信網の発達の様子や、国内の交通・通信網の整備状況から地域間の結び付きがわかる。</li> </ul>	A・B・C

#### 4. 評価の観点・内容及び評価方法

観点	内容	評価方法
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	学習活動の観察 ノート・ワークシート ペーパーテスト 発表
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	学習活動の観察 ノート・ワークシート ペーパーテスト 発表
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	学習活動の観察 ノート・ワークシート